

モビリティ革命が脱炭素化を

3/16 WED

実現するための条件

～『地球にやさしい』交通とは何か?～

13:30~16:15



- 日 時: 令和4年(2022年) 3 月 16 月(水)
- 方 法: オンライン(どなたでもご参加いただけます)
- 主 催: 名古屋大学環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター
- 後 援: 東海国立大学機構カーボンニュートラル推進室・早稲田大学スマート社会技術融合研究機構・国立大学法人岡山大学・国立研究開発法人国立環境研究所

《開催趣旨》

○名古屋大学・早稲田大学・岡山大学・国立環境研究所が共同で実施している研究プロジェクト「モビリティ革命が脱炭素化を実現するための条件」(国の環境研究総合推進費によって実施、代表: 加藤博和<名古屋大学教授>)で明らかになったことを報告します。

○モビリティ革命とは、ITの普及によって自動運転や車両の共有、移動情報の提供やオンデマンド予約などが進み、いまより移動が便利になる社会に代わることで。これから100年に一度の変革期が来るとも言われています。

○このプロジェクトは、交通活動から出るCO₂排出量がモビリティ革命によって減るかどうか、少なくするためには何が必要かを明らかにすることを目的としています。

【参加無料】どなたでもご参加可能!(先着順200名)

申し込み

・下記Webページよりお申し込みください。

<https://forms.gle/46o4QXxsrrrr54Yw9>

・右記QOコードからもお申し込み頂けます。



【お問い合わせ】

名古屋大学持続的共発展教育研究センター・地域戦略研究室 担当者: 朴(パク)

TEL: 052-789-2772

Email: suil@urban.env.nagoya-u.ac.jp

【プログラム・スケジュール】

進行:加藤 博和(プロジェクト代表・名古屋大学)

1. 挨拶・プロジェクト紹介・成果発表

13:30~15:30

◆ 挨拶

西澤 泰彦(名古屋大学)

◆ プロジェクト紹介

加藤 博和(名古屋大学)

◆ 成果発表

・交通システムの低炭素性評価の包括的方法論の開発

森田 紘圭(大日本コンサルタント株式会社)

朴 秀日(名古屋大学)

・交通具・エネルギーに関する新技術の低炭素性評価

井原 雄人(早稲田大学)

・IT等交通マネジメントに関する新技術の低炭素性評価

氏原 岳人(岡山大学)

・地域の社会・空間構造の長期変化に関する低炭素性評価

松橋 啓介(国立環境研究所)

休憩

15:30~15:40

2. 質疑応答・意見交換

15:40~16:15

討論者

■ プロジェクトアドバイザー:

天谷 賢児 氏(群馬大学)

紀伊 雅敦 氏(香川大学)

牧村 和彦 氏(計量計画研究所)

■ プログラムオフィサー

中根 英昭 氏(環境再生保全機構)

■ 環境省水・大気環境局自動車環境対策課

■ 国土交通省総合政策局環境政策課

※本シンポジウムは環境省および(独)環境再生保全機構の環境研究総合推進費(JPMEERF20201G01)により実施するものです。